

1 / 27 (金) の発表

はじめよう、つづけよう。

「北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル

報道発表資料の配付日時 1月27日(金) 10時00分

| | | | |
|-------------------------|--|------|--|
| 発表項目 (行事名) | 令和4年度北海道産業貢献賞(農業関係功労者)受賞者の決定について | | |
| 記者レクチャー のお知らせ | (実施日時) | 発表者 | |
| | | 発表場所 | |
| 概要 | <p>北海道産業貢献賞は、多年にわたり本道の産業の振興発展に貢献され、この功績の顕著な方々を顕彰するものであり、産業部門別に表彰しております。</p> <p>このたび、宗谷管内から令和4年度北海道産業貢献賞(農業関係功労者)の受賞者が決定されましたので、お知らせします。</p> <p>1 宗谷管内の受賞者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○猿払村 仲野 信之(なかの のぶゆき) 農業・農村振興等功労者(農業経営等) ○豊富町 豊富地区集落協定(とよとみちくしゅうらくきょうてい) 農業・農村振興等功労者(農業・農村振興) <p>2 表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 日時 令和5年2月14日(火) 13時30分から14時45分まで (2) 場所 京王プラザホテル札幌 2階 エミネンスホール | | |
| 参考 | 添付資料: 受賞者の概要、全道受賞者一覧表、功績区分表 | | |
| 報道(取材) に当たって のお願い | | | |
| 他のクラブ との関係 | 同時配付 同時レク | (場所) | |
| 担当 (連絡先) | 宗谷総合振興局産業振興部農務課長 加藤 宏尚 TEL ダイヤルイン 0162-33-2949 内線: 2700 宗谷総合振興局産業振興部農務課農政係長 樋郡 和彦 TEL ダイヤルイン 0162-33-2533 内線: 2711 | | |

受賞者の概要について

【仲野 信之氏】

○職 歴

- ・昭和45年 仲野元峰牧場で、酪農に従事
- ・平成元年 仲野元峰牧場の経営を継承、仲野信之牧場開始
- ・平成5年 猿払村農業協同組合、代表監事に就任
- ・平成12年 猿払村と浜頓別町農協が合併し東宗谷農業協同組合発足
東宗谷農業協同組合、理事に就任
- ・平成13年 猿払村農業委員会、委員に就任
- ・平成16年 TMRセンター(有)浅茅野システムレボ設立、代表取締役役に就任
- ・平成29年 宗谷TMRセンター連絡会設立、会長就任
- ・令和元年 運送業(株)テイシン、代表取締役社長に就任
猿払村農業委員会、委員を退任
- ・令和4年 東宗谷農業協同組合、理事を退任
猿払村産業貢献者表彰 受賞

○功 績

当時(※)、宗谷管内では初となるTMRセンター、(有)浅茅野システムラボを11戸の酪農家で設立(平成16年)。代表取締役に就任し、良質粗飼料の供給や新規就農者の経営や技術支援などを通して、地域の生産力向上に貢献するとともに、草地型酪農地域におけるTMRセンターとして視察等を積極的に受け入れるなど、管内のTMRセンターの設立推進に大きく寄与。

先進技術の導入にも積極的であり、GPS管理ソフト「レボサク」の開発段階から試験協力を行い、管内で初めてTMRセンターの運営に導入することで、作業効率の向上による省力化・コスト低減を実現するとともに、先駆的事例としてモデルとなることで全道のTMRセンターにおけるスマート技術の導入普及に貢献。

また、近年、宗谷管内においてTMRセンターの設立が進んだことから、管内のTMRセンター相互間の情報共有や協力体制を確立する必要があると考え、「宗谷TMRセンター連絡会」の設立(平成29年)に尽力し、これまで5年間会長に就任。

宗谷管内のTMRセンターをけん引する立場を担い、率先して勉強会や現地視察を実施するほか、管内ではいち早く導入した人材派遣会社からの労働力確保について連絡会で情報共有し、他センターでの導入を後押しするなど、管内TMRセンターの生産技術の向上や労働力の確保に貢献。

仲野氏個人としても、猿払村農協で平成5年から代表監事、平成12年からは合併後の東宗谷農協で理事に就任し農協運営に携わる一方、営農生産委員会の委員長として、規模拡大や経営改善に向けた助言に努めるほか、農協独自の動産担保融資や大型法人の従業員確保に必要な宿舍建設資金を創設するなど、組合員の生産力の強化や経営の安定化に尽力された。

※ 宗谷支庁管内。振興局単位では、幌延町にCFT(カウフードトイカン)が平成15年に設立。

【豊富地区集落協定】

○職 歴 (構 成)

平成12年度 豊富町において、8集落協定が設立

平成17年度 1集落協定に統合され農業者の大半が参加した「豊富地区集落協定」が設立（現在は147戸で構成）

○功 績

当集落は、一戸当たりの乳牛飼養頭数は増加しているものの、地域農業の担い手不足や高齢化により、農家の減少が進行しており、離農農地の引き受けの不足、個別経営による耕作面積拡大の限界など農業経営の継続に支障をきたしかねない状況を改善する為、集落ぐるみで農業生産活動の体制の整備等に貢献された。

当初8集落で活動していたが、より一層の取組みを充実させるため、平成17年度から1集落に統合することで、町全体の酪農経営の課題に地域全体で取り組むことに貢献された。

これまでの主な取組は、農場周辺の環境美化や酪農家の女性を中心に花壇の整備、担い手不足解消の為に、新規就農者の宿泊研修施設の建築を助成、将来の担い手を育てるため、地元の小学生を対象に農家体験実習として搾乳体験、バター・アイスクリーム作りを実施、地域の現状・課題を共有するための集落会議を実施し地域のコミュニケーションの深化を図るなど貢献された。

また、豊富町における酪農の課題である草地の経年劣化の解消に向けて、草地改良整備や明渠排水の維持管理などへの助成措置を講じ農業基盤整備を実施しているほか、後継者や担い手不足を支援する為、ヘルパー利用組合の運営助成や収穫作業の負担軽減のためのコントラ事業運営費の助成、鳥獣被害対策としてエゾシカ駆除への助成などにも取り組んでおり、地域全体で取り組むべき課題の解決に対し尽力された。

令和4年度北海道産業貢献賞(農業関係功労者)受賞者一覧

| | 市町村 | 氏名又は団体名 | 功績の内容 |
|----|--------|--------------------------------------|----------------------|
| 1 | 岩見沢市 | むらき ひでお 村木 秀雄 | 農業団体等功労者(農業協同組合) |
| 2 | 長沼町 | うちだ かずゆき 内田 和幸 | |
| 3 | 幕別町 | たかはし ひでき 高橋 秀樹 | |
| 4 | 釧路市 | こせ やすし 小瀬 榮 | |
| 5 | 鶴居村 | たきざわ よしかず 瀧澤 義一 | |
| 6 | 別海町 | はらい まつよし 原井 松純 | |
| 7 | 札幌市豊平区 | そのき ゆうじ 園木 勇司 | |
| 8 | 芽室町 | おかだ つねひろ 岡田 恒博 | 農業団体等功労者(農業共済事業) |
| 9 | 札幌市中央区 | おかもと しんぺい 岡本 真平 | 農業団体等功労者(農業委員会等) |
| 10 | 札幌市西区 | うるしざき さとる 漆崎 智 | |
| 11 | 旭川市 | やすとも すずむ 安友 進 | |
| 12 | 名寄市 | しんどう ひろあき 進藤 博明 | |
| 13 | 増毛町 | せんぼく きよたか 仙北 清孝 | |
| 14 | 小平町 | よしもと じゅんいち 吉本 淳一 | |
| 15 | 羽幌町 | たかみ ただよし 高見 忠芳 | |
| 16 | 網走市 | やまだ けんいち 山田 健一 | |
| 17 | 津別町 | まるお さとし 丸尾 諭 | |
| 18 | 佐呂間町 | おおさわ よしゆき 大澤 好幸 | |
| 19 | 札幌市北区 | さくま とおる 佐久間 亨 | 農業団体等功労者(土地改良事業) |
| 20 | 美幌市 | こじま みつほ 小島 光穂 | |
| 21 | 深川市 | よこい しんいち 横井 信一 | |
| 22 | 当別町 | ふるや よういち 古谷 陽一 | |
| 23 | 旭川市 | とやま ひろみ 外山 弘美 | |
| 24 | 美瑛町 | ふけ としはる 福家 敏春 | |
| 25 | 浦臼町 | おの つよし 小野 剛 | 農業指導等功労者(農業指導) |
| 26 | 別海町 | さいとう てつお 齊藤 哲夫 | 農業指導等功労者(家畜衛生等) |
| 27 | 安平町 | たがみ まさあき 田上 正明 | |
| 28 | 北斗市 | さらしな しんや 更科 進也 | |
| 29 | 池田町 | みやこし まこと 宮腰 誠 | |
| 30 | 別海町 | やまざき ゆきお 山崎 幸夫 | |
| 31 | 猿払村 | なかの のぶゆき 仲野 信之 | |
| 32 | 芦別市 | あしべつしゅうらくきょうてい 芦別集落協定 | 農業・農村振興等功労者(農業・農村振興) |
| 33 | 豊富町 | とよとみちくしゅうらくきょうてい 豊富地区集落協定 | |
| 34 | 帯広市 | おびひろしたいしゅうちくこういききょうてい 帯広市大正地区広域協定 | |
| 35 | 鹿追町 | ただ たけだ こうじ 武田 耕次 | |
| 36 | 新得町 | ゆあさ ゆうこ 湯浅 優子 | |

各功績の内容

| 功績の区分 | 内 容 |
|------------|---|
| 農業協同組合功労者 | 農業協同組合及び同連合会の役職員として、多年にわたりその組織の育成と組合運営の向上に貢献し、他の模範となるもの |
| 農業共済事業功労者 | 農業共済組合及び同連合会の役職員として、多年にわたりその組織の育成と組合運営の向上に貢献し、他の模範となるもの |
| 農業委員会等功労者 | 農業委員会及び農業会議の役職員として、多年にわたり農地の適正利用とその会務運営の向上に貢献し、他の模範となるもの |
| 土地改良事業功労者 | 土地改良団体の役職員として、多年にわたりその組織の育成と組合運営の向上に貢献し、他の模範となるもの |
| 農業指導功労者 | 多年にわたり、農産、園芸及び畜産の生産、加工、流通に関する技術の改善普及、又は農業経営の安定向上もしくは農家生活の充実等のための啓もう活動を行い、本道農業の発展に顕著な功績を挙げたと認められ、他の模範となるもの |
| 家畜衛生等功労者 | 多年にわたり、家畜衛生家畜改良増殖等の推進に努め、また、農家の家畜衛生思想の高揚及び家畜の生産性の向上に貢献し、本道農業の発展に顕著な功績を挙げたと認められ、他の模範となるもの |
| 農業経営等功労者 | 自らの創意工夫により地域条件に適応し、生産性に優れた農業経営や生産組織を確立もしくは新規就農者として優れた経営を展開し、又は農家生活の改善に極めて顕著な成果を挙げるなど、本道農業経営の先導的役割を果たしたと認められ、他の模範となるもの |
| 農業・農村振興功労者 | 農業・農村に関わる取組や活動等を通じて、本道農業の振興や農村の活性化に顕著な功績を挙げたと認められ、他の模範となるもの |